

人権・平和・環境

みなみ風

発行

南部地域振興課(沼隈支所3階)
福山市沼隈町草深 1889 番地 6
TEL 980-7713
FAX 987-2382

Webは
こちらから

E-mail: nanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市南部地域振興課

検索

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「南部地域振興課」で検索!

◆お知らせ◆

南部生涯学習センターは今年度より **南部地域振興課** へ
名称が変わりました (場所は今までどおり沼隈支所3階です。)

○業務内容について

地域づくり担当 → ばらのまちづくり・協働のまちづくりといった地域づくり推進事業などを行います。

人権・生涯学習担当 → 人権啓発に関することや社会教育活動事業、生涯学習の啓発などを行います。

また、継続的に地域に出向き様々な個人、団体から聞き取りを行うなど**広聴機能の強化**に努めます。

○業務の移動について

学事事務が沼隈支所2階の市民担当 (☎980-7702) に移動となりました。

それに伴い…

南部地域振興課学習情報紙「あしだかわ」は今月号から「**みなみ風**」に名称を変更します。
南部の川から、谷から、山から、海から…南部を駆け抜けるさわやかな風のように皆さまに
情報を届けていけるよう、これからも頑張ります!

人権・社会教育活動事業

南部なるほど! キャンバス



沼隈支所ロビーや沼隈図書館企画展示室等を活用して、人権問題や南部地域のまちづくりの取組、
福山および南部地域のイベントなど、パネル展示通じて、さまざまな情報を発信していきます。



絵本「ゆうちゃんとまほうのばら」原画展 & 「ピースメッセージ@ぬまくま2021」PR展示

戦後、「ばら」は復興のシンボルとして福山市民に希望と勇気を与えてくれました。
「ばらのまち福山」の心を次世代へ語り継ぎ、全国へ発信していきたいとの思いから
絵本「ゆうちゃんとまほうのばら」は制作されました。

ローズマインド (思いやり・優しさ・助け合いの心) を感じられるやさしく温かい
原画をぜひご覧ください。

あわせて、平和を願い毎年開催しているイベント「ピースメッセージ」(詳細は最終ページに記載)の
PR展示も行います。これまでのイベントの様子を写真で紹介しします。さらに、メッセージカード記入コ
ーナーも設けますので、平和への願いや思いをご記入ください。



とき 7月20日(火) から 8月9日(月)

ところ 沼隈支所 2階ロビー (人権交流センター1階ロビーでも関連展示をします)

問合せ 南部地域振興課 (電話 084-980-7713)

ピースメッセージ

2021年度人権啓発リーフレットが、できました！



みんなで差別のない新しい時代をつくる

「人権尊重のまちづくりに 関する市民意識調査より」

福山市では地域別住民学習会や人権問題研修などで使用する学習資料として「人権啓発リーフレット」を作成しています。今回のリーフレットでは、2018年度に実施した「人権尊重のまちづくり」についての市民意識調査の中から人権に関する項目を取りあげて、これからの人権尊重のまちづくりについて考えていきます。今年度の主な内容は、次の3点です。

①身元調査の問題点に気づきにくくなっている

②正しく知るために、全ての世代で人権学習を

③ますます必要とされる、住民学習会

まだまだ根強く残る身元調査

身元調査の認知率は、2018年度調査より17.7%増えています。しかし「知らない」という意見が68.0%と約半数あります。前回(2010年度)の調査と比較すると、58.7%ではほぼ倍の割合になっています。

■世代別に見る身元調査に対する意識の違い

世代別に見ると、「身元調査をすべきではない」という意見は世代は、50年代が多く(どちら33.3%)、この世代は学校や地域の学習等で人権について学ぶ機会が多い世代と言えます。この世代は70年代が山形県山形市より20代では「身元調査をすべきではない」が少なく「身元調査は当然のこと」と考えた割合が高くなっています。特に20代では意見が割れて「当然のこと」と「わからない」と考えた割合が高くなっています。この世代は学ぶ機会が少なく、身元調査の重要性に気づきにくいことが原因と見られます。

■登録型本人通知制度を知っていますか？

「知らない」が60.2%
「よく知っている」が14.3%

福山市では、3,538人(2021年3月31日現在)が登録しています。(人口比:0.75%)交付した事業を知らせる通知は累計2,750件です。

登録することから人権を尊重する意思表示でもあります。また、事業開始の事前説明や不正が発覚する可能性があることから、不正取得を未然に防止する効果も期待されます。その他みなさんの人権が守られることにつながります。

登録型本人通知制度とは？

戸籍簿などの不正取得により、他人の人権が侵害されること防止し、被害を未然に防ぐ。代理人や第三者への証明書を交付したときに、事前に登録した人へ、その事実を知らせる制度です。

本人通知の流れ

1. 登録(戸籍簿、住民票、選挙人名簿) 2. 交付(申請書、手数料) 3. 通知(登録者へ)

同和問題を知らない若い世代に学習の機会を

■部落差別等の同和問題を初めて知ったきっかけは

市員資格研修において、「部落差別等の同和問題を初めて知ったきっかけは」という質問では、「学校の授業で聞いた」という回答が最も高い数値を示しています。

22% (学校・研修、地域のから聞いた)
25.4% (市員資格研修など)
7.7% (部落差別等の同和問題知らない)
3.2% (テレビ・インターネットなど)
6.8% (学校の授業で聞いた)

■年代別のグラフ

年代	学校の授業で聞いた	市員資格研修など	テレビ・インターネットなど	部落差別等の同和問題知らない
20代	18.1	41.4	2.4	21.3
30代	29.0	17.4	2.5	41.0
40代	16.1	30.1	2.9	41.0
50代	13.3	40.2	2.7	31.9
60代	12.4	41.4	4.1	31.9
70代	27.1	31.4	8.0	11.6
80代	19.4	15.8	11.1	2.9
90代	41.1	9.2	9.6	25.3

年代別のグラフで目すべき点は「部落差別等の同和問題を知らない」と回答した20代の割合が前回の21.3%から41.0%と23.7ポイント増加し、「学校の授業で聞いた」割合は前回の45.4%から17.4%と大幅に減っていることです。

差別に関する知識に関して、若くは知らないまま過ごした経験に照らすとそれ正しい情報だと動いてしまう現象が起きてしまいます。近年はインターネット社会であり、誰でもSNSを利用し様々な情報を収集・閲覧することが可能となりました。ネット上での学習機会の重要性が今後高まることが見込まれます。そんな中でこそ、子どもや世代子どもたちなど若い世代の人権学習が必要ではないでしょうか。

地域別住民学習会の必要性

■「人権尊重のまちづくり」のための取組

最も早く開始できるよう関係窓口を充実する 47.6%

学校子ども連帯の人権啓発講座を修む 39.3%

行政・自治会・市民会、ボランティアなど分科制の学習会を開催し、一歩となった取り組みを行う 31.9%

自治会内分科制の行事を活性化し、人権文化の学びを行う 27.7%

行政が中心となって人権啓発の推進を図る 22.7%

市民一人ひとりが主体的にまちづくりに参加する 21.6%

自治会内分科制が中心となって取り組む 17.8%

■みんなでつくる差別のない時代

福山市では、まちづくりの基本理念に「人権尊重都市」を掲げ、市民と行政が責任と役割を分担しともに力を合わせて「差別のない時代をつくる」目標を掲げて取り組んでいます。その中でも特に重要なのは、一人ひとりがお互いに尊重されることです。しかし、今なお差別意識は根絶できず、人権問題が存在し、また差別意識の発生など時代とともに人権問題に関する社会状況の変化により新たな人権問題が生じています。

2016年には「部落差別解消推進法」が施行されましたが、多くの市民がこの法律を知らないままは「知らない」と感じる市民が少なくありません。法律の目的でもある「差別のない社会を実現する」ために地域学習は重要であり、学校も連携する中で差別に関する学習をこれまで以上に必要があると考えます。

学習を通じて差別の根絶を目指す。人権尊重を改めて学び直し、そして一人ひとりが人権を自分自身にかかわる身近な問題として考え、行動することが大切です。

お問い合わせ先
人権啓発課 084-928-1008 公民館課 084-924-6443
中部地域振興課 084-932-7285 中部地域振興課 084-941-9400
東部地域振興課 084-940-2874 東部地域振興課 084-940-2874
南部地域振興課 084-980-7713 南部地域振興課 084-982-9228

差別がいけないことは、これまでも人権学習や研修会などで学んできました。さらに、昨年度からの新型コロナウイルスに係る誹謗・中傷などからもそのことを痛感した人もたくさんおられたのではないのでしょうか。

時代の変化と共に新たな視点での人権課題が明らかにされています。実態調査の結果からは、こうした時代に私たちが人権とどう向き合うべきかを考えることができます。

差別はいけない、だからこれをなくしていく。これからは、私たち一人ひとりが差別をなくしていく主体であることを考えるきっかけに、ぜひリーフレットをご活用ください。

☆☆☆問合せ先 南部地域振興課 電話084-980-7713☆☆☆

ふくやま人権大学

～学習教材を貸出します！～



ふくやま人権大学は、2006年より人権文化が根付いた地域社会の実現に向けて、地域リーダーの養成を目的に開催しております。

この度、貸出用の学習教材を作成しましたので、各地域・学校・団体・企業などで、人権学習を行う際にご活用ください。

教材番号1 『新型コロナウイルス感染症と人権』

○内容

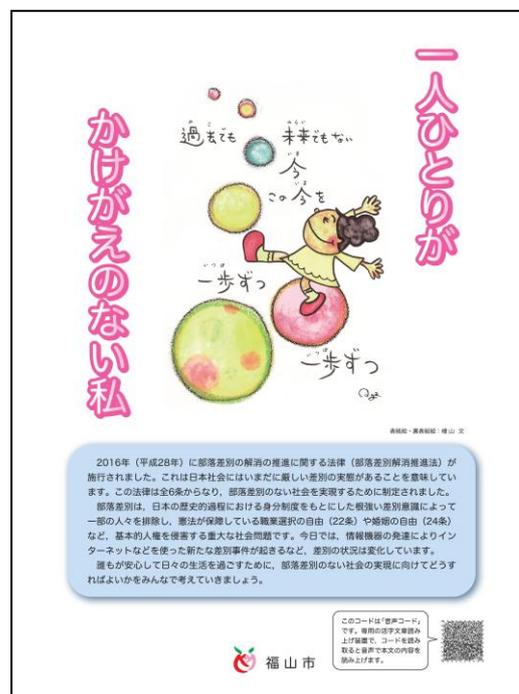
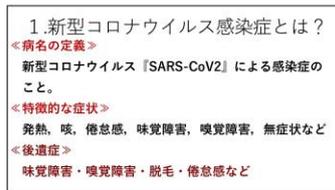
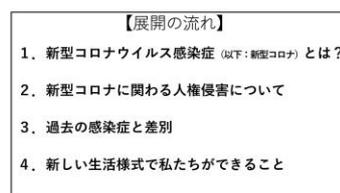
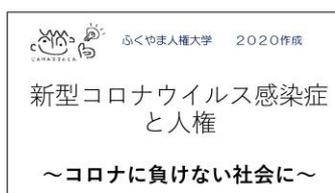
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世界中で様々な偏見や人権侵害が起こっています。

なぜ、このような問題が起こるのか、私たちができることは何なのかを考えてみましょう。

○活用方法

パワーポイント形式で作成していますので、学習会の資料として使用することができます。

各スライドの解説例付となっております。



教材番号2 『部落問題と人権』

○内容

部落問題をテーマにした人権啓発リーフレット「一人ひとりがかけがえのない私」を活用し、学習する際の補助教材です。

用語の解説や法律の条文、学習会の展開例などをまとめています。

○活用方法

このリーフレットを活用する学習会の司会者や進行役をされる方の事前学習用教材として、また、当日の進行や解説の原稿として使用できます。

リーフレットが必要な場合は、最寄りの地域振興課へご連絡ください。

← 2020年度福山市作成 人権啓発リーフレット『一人ひとりがかけがえのない私』

貸出媒体

CD-R

※データの複製はしないでください。

貸出方法

貸出希望日の1週間前までに、電話で申し込んでください。

問合せ・申込先

ふくやま人権大学ホームページ ↓

人権・生涯学習課 084-928-1243

中部地域振興課 084-932-7265

松永地域振興課 084-934-5443

東部地域振興課 084-940-2574

南部地域振興課 084-980-7714

北部地域振興課 084-976-9460

神辺地域振興課 084-962-5026



とき 8月9日(月) ※雨天中止

ところ 能登原公民館

メッセージツリー
ライトアップ

18:00~



平和への願いを込めた
メッセージカード募集!

応募いただいたメッセージを、ツリー
やキャンドルでライトアップします。

※メッセージカードは、福山市内の各コミュニ
ティセンター・館及び、南部管内公民
館・交流館にあります。



野外
映画上映

19:30~20:00

「おこりじぞう」

広島市の一隅に立つお地蔵さんと、原爆で命を奪われた
少女との物語を人形アニメーションで描かれています。

— お願い —

※新型コロナウイルス感染予防のため、ご来場の際はマスクの着用をお願い
します。

※参加者の方には、受付時に連絡先の情報を提供していただきます。

(新型コロナウイルスの感染が確認された場合、保健所などへの報告のため)

※感染状況の変化に応じ、中止とする場合があります。

問合せ：瀬戸コミュニティセンター/084(951)1809・山手コミュニティセンター/084(951)5679

主催：南部地域振興課管内コミュニティセンター

協力団体：能登原学区まちづくり推進委員会/千年学区まちづくり推進委員会

常石学区まちづくり推進委員会/山南学区まちづくり推進委員会

ピースメッセ@ぬまぐま
2021